

令和4年度第2回「北海道森林審議会」議事概要

1. 日時及び場所

令和4年12月19日(月)13:30~15:00
第二水産ビル8階8A 会議室

2. 出席者

【委員】小泉会長 / 有末委員 / 柿原委員 / 兼子委員 / 上委員 / 北村委員 / 早川委員 / 前田委員 / 山口加津子委員 / 吉田委員 (委員 10名出席)

【道側】山口水産林務部長 / 黒澤水産林務部次長 / 野村林務局長 / 寺田森林環境局長 / 矢本技監 / 加納森林計画担当局長 / 関係課長ほか (道側 19名出席)

3. 議事

(1)地域森林計画の樹立及び変更について

森林法第6条第3項の規定に基づき知事から諮問のあった「地域森林計画(案)の樹立及び変更」について審議を行い、計画案のとおり答申することを決定。

【委員の主な発言】

- ・ 間伐の実行率が低くなっているため、実効性のある取組を進めるべき。
- ・ 間伐の推進に必要な路網の整備を進めるためにも、不明森林所有者、不在村森林所有者対策を進めるべき。
- ・ 将来の林業の担い手確保にもつながるよう、学校教育の中で、森林・林業について学習する機会を確保するべき。
- ・ 担い手の確保に向けて、若者にアピールできるよう、実際の山での作業の動画をSNS等を活用して発信するべき。
- ・ 担い手不足の対策の一つとして、林業分野においても外国人実習生の受け入れを行うとよいのではないか。

(2)報告事項

①林業労働実態調査の概要について

令和3年度林業労働実態調査の概要について報告を行った。

【委員の主な発言】

- ・ 依然として林業労働者における高齢者の割合が高いことから、造林の担い手を確保できるよう、大胆に造林作業の軽労化・省力化に取り組むべき。

②航空レーザを活用した森林由来クレジット創出について

J-クレジット制度の概要と、道有林におけるオフセット・クレジットの取組について報告を行った。

【委員の主な発言】

- ・ クレジットの創出量が多いので、販路拡大が必要。
- ・ クレジットを企業に買ってもらい、実際に森林づくりにつながることが重要。民有林でもクレジットの創出と森林整備が促進されるよう取り組むべき。
- ・ 木育活動の中で、カーボン・オフセットなどの地球温暖化対策の理解が進むよう取り組むべき。